

佐渡地域医療・介護・福祉・提供体制協議会 第1回 通常総会 議事録

- 1 開催日時及び場所 平成 30 年 7 月 5 日（木） 午後 2 時
新潟県厚生連佐渡総合病院 2 階 講堂

2 会員総数、出席者数及び出席者氏名

(1) 会員総数 34 名

(2) 出席者数 28 名

(会員名)

一般社団法人 佐渡医師会

新潟県厚生農業協同組合連合会 佐渡総合病院

新潟県厚生農業協同組合連合会 羽茂病院

新潟県厚生農業協同組合連合会 真野みずほ病院

佐渡市立両津病院

佐渡市立相川病院

一般社団法人 佐渡歯科医師会

佐渡薬剤師会

公益社団法人 新潟県看護協会 佐渡支部

新潟県リハビリテーション専門職協議会 佐渡支部

社会福祉法人 佐渡市社会福祉協議会

社会福祉法人 小佐渡福祉会 特別養護老人ホームはもちの里

社会福祉法人 大佐渡福祉会

社会福祉法人 愛宕福祉会 特別養護老人ホーム新穂愛宕の園

社会福祉法人 佐渡前浜福祉会 特別養護老人ホームスマイル赤泊

社会福祉法人 佐渡ふれあい福祉会

医療法人 愛広会 相川愛広苑

ツクイ佐渡りょうつ

合同会社 一期一会 居宅介護支援事業所コンパス

有限会社 ケアプラン事務所きくち

公益社団法人 新潟県介護福祉士会

社会福祉士会 佐渡地区

社会福祉法人 佐渡福祉会

社会福祉法人 佐渡国仲福祉会

社会福祉法人 とき福祉会

社会福祉法人 しあわせ福祉会

会 長 中山 秀英

病院長 佐藤 賢治

病院長 永田 大志（代理）

病院長 長島 清（代理）

院 長 石塚 修（代理）

院 長 吉井 章

会 長 児玉 信彦（代理）

会 長 金子 正規

佐渡支部長 加藤 由美子

理学療法士 金子 義弘

会 長 田上 睦夫

園 長 金子 陽子（代理）

理事長 渡部 公正

施設長 伊澤 宏二

施設長 永井 恭子

理事長 末武 雅之（代理）

施設長 富崎 安夫（代理）

所 長 後藤 正則

管理者 安藤 篤弘

管理者 菊池 博美

副会長 中村 和弘

社会福祉士 本間 奈美

理事長 弾正 佼一（代理）

理事長 本間 攻

理事長 末武 正義

理事長 佐藤 美恵子

新潟県佐渡地域振興局
佐渡市

地域振興局長 小林 敬
市 長 三浦 基裕（代理）

(3) 欠席者数 6名

（会員名）

社会福祉法人 佐渡寿福祉会

理事長 山本 充彦

新潟県厚生農業協同組合連合会 介護老人保健施設さど

施設長 服部 晃

株式会社 佐渡厚生会 十季のあかり佐渡

代表取締役 門口 茂

株式会社 老介護とき

代表取締役 明畑 章

合同会社 和 ケアプランかず

管理者 木下 直美

ささえあいコミュニティ生活協同組合新潟

代表理事 高見 優

3 審議事項及び議事の経過の概要及び議決結果、議事録署名人の選任に関する事項

(1) 開会

事務局が開会を宣言した。

(2) 開会挨拶

中山会長が挨拶をした。

(3) 議長及び議事録署名人選出

事務局提案により議長及び議事録署名人が以下のとおり選出された。

議 長 中山 秀英

議事録署名人 中山 秀英

大滝 秀昭

佐藤 美恵子

(4) 議題

議長は第1号議案を上程した。

① 第1号議案 佐渡地域医療・介護・福祉提供体制協議会 平成30年度 事業計画（案）
について

事務局および各作業部会代表（担当理事、部会リーダーまたは部会事務局）が、資料に基づき第1号議案を説明した。

議長が意見・質問を求めた。

佐藤病院長： 議論を進めていく上で各論に走ってしまうとまとまらなくなる。部会では大まかなカテゴリーを作り、細かい内容はワーキンググループや場合によっては

各施設におりる話だと思う。極力各論には踏み込まず、総論の理解と共有を徹底したほうが議論をまとめやすいかと思うので、そういう方向で考えていただきたい。

学習・研修部会についてみても、看護師の基礎部分で固めなくてはならないこと、あるいはケアマネであれば絶対に共有しなくてはいけない業務、ということを確認していくことが非常に重要で、細かい内容の落とし込みは組織、あるいは個人レベルになるためそこは部会としては踏み込まない。ワーキンググループでの話し合いはいいかと思う。

議長がその他の意見・質問を求めるも、特に発言がないことから承認の可否を諮り議決承認した。

② その他

議長よりその他の意見・質問を求めた。

永井施設長： 学習・研修部会の構成はどのくらいの人数を想定し、現在は何人で進めているのか。

伊里課長： 職種により違い、多いところで10名以上、検査技師、放射線技師など少ない所は3～4名程度。メンバーを固定せず半オープンな形で検討を進めていけたらと考えている。

永井施設長： うちの施設からも部会に参加しているが、参加人数があまりにも少なく、何をどのように検討していけばいいかわからず話し合いにならない。そこで、参加人数を増やすための提案として、部会事務局より各施設へ参加職種を指名することで、施設も派遣しやすいのではないか。

伊里課長： 事務局でどうかというのではなく、指名をする仕組みでやっていいと考えていらっしゃるか、皆さんのご意見をお聞きしたい。

佐藤病院長： 指名をするということになると業務命令となり、時間外手当の問題などになるとすぐに破綻する。個人的な意見であるが、職員を派遣する際の手当をどうするかは各施設に委ねるしかなく、施設によって対応が違ってもやむを得ず、部会リーダーからの指名は現実的に無理だと思う。我々はこれからの事を真剣に考えていかねばならず、施設長なり意思決定する立場の方はこの状況を理解し相応の人を派遣するというのが施設長のデューティーかと思う。ここでの意思決定、統一は難しいと思う。

(5) 閉会挨拶

渡部副会長が挨拶をした。

事務局が、午後3時10分、佐渡地域医療・介護・福祉提供体制協議会 第1回 通常総会の閉会を宣言した。

以上の顛末に相違のないことを認め、押印する。

平成 30 年 7 月 5 日

中山 秀英



大滝 秀昭



佐藤 美恵子

